

第2回 八王子バイオマス・エコセンター環境保全委員会の主な内容

| | |
|--------|--|
| 日 時 | 平成 27 年 4 月 11 日（土） 14：00～15：30 |
| 場 所 | 株式会社イズミ環境 事務所棟 2階会議室 |
| 出席委員 | 南大沢 1.2 丁目住民様 1 名、南大沢 3.4 丁目住民様 2 名、町田市住民様 2 名 伊澤 敏彦(環境福祉学会監事) 山下 雅道(JAXA 宇宙研・名誉教授) 大島 錬三(環境カウンセラー) 松田 智(静岡大学大学院工学研究科准教授) 島田 文生(東京都立産業技術研究センターコーディネーター) 中元会長、松山社長、センター長（事業者） |
| 欠席委員 | 浅井 民雄(堆肥化協会会長)、南大沢 1.2 丁目住民 1 名、 町田市住民様 1 名 |
| 招 集 | 薬液メーカー 1 名 |
| オブザーバー | 1 名 |
| 事務局 | 事業者 2 名 |
| 配布資料 | 投影したパワーポイントのスライドの一部 |

開催の挨拶

議 題

1 今までの経緯、経過について

- ・第 1 回環境保全委員会から第 2 回までの間の経緯、経過が事務局より説明報告された。
- ・青森県八戸市（同様施設）で 3 月 16 日から 20 日まで予備実験（データ収集）を行い、堆肥化物の含水率、エア送気量の調整次第で発酵槽の原臭であっても臭気濃度は規制値を超えない事がわかり、また発酵槽の昇温プロファイルや温度分布などのデータを収集できた旨が説明された。
- ・八王子バイオマス・エコセンターでも予備実験（八戸施設）と同じ結果が得られるのかを環境保全委員会のテクニカル・アドバイザー一部会で整理する事とした。
- ・予備実験（八戸施設）の様子がビデオで投射され説明された。
- ・瑞穂町にて実験した結果、残存堆肥が戻し堆肥として使用可能である旨が説明された。

2 今後について（工程表）

- ・イズミ環境工程表を作成し提示調整して進めている旨が説明された。

3 青森県八戸市（同様施設）における公開実験開催について

- ・住民の皆様にはホームページ及び投函にて告知予定である旨を説明された。
- ・実験の公開の方法の一つとして、イズミ環境事務所棟2階会議室にてスカイプを使用し参加者と実験場所での動画像・音声による双方向の交信を行う事とした。

4 環境保全委員会の規約・組織図

- ・事務局よりスライドにて説明され 了承された。

5 次回開催について

- ・環境保全委員会規約には2ヶ月に1回とされているが、報告・相談等あれば委員長招集し開催する事が了承された。

6 その他

- ・現在、町田市住民委員として役員3名参加しているが、町田市側参加者を募って正式に決まるまでの間、繋ぎとしての仮参加と成る旨の説明を頂いた。
- ・別所地区、南大沢 3-13、3-14 住宅管理組合の方にも随時参加お願いをしていることが説明された。

閉会の挨拶